

つた
伝えよう

いのち
命の尊さ

ほとけ
佛の心

花園会報 東園

平成30年3月2日発行
138号

宗教法人 東園寺
〒985-0026 塩釜市旭町4-1
022(362)0777 寺務所
022(364)4444 寺FAX
022(362)8651 中央幼稚園

学校法人 東園寺学園
〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
022(365)5616 第二中央幼稚園



失敗を財産に!

去る1月17日、東北楽天ゴールデンイーグルス与田剛コーチのトークショーが東園寺本堂で開催されました。与田コーチに来山頂き、行事を開催するのは一昨年の暮れに続いて2度目になります。前回も大好評を博した与田コーチの講演会、今年は小学生の参加を見越してトークショーという肩の凝ら無いイベントとして開催されました。今回、縁があつて参加した子供達は大きな身体をした与田コーチに驚き、説得力のある話ぶりに目を輝かせてお話に集中していました。今回のお話で心に残ったのは「失敗もその失敗の原因を詳らかにし、その対策が出来たならば失敗は大きな財産になる」というコーチの言葉。これなどは仕事や社会生活に当てはまる金言だと思えます。

純粹にスポーツに取り組むことは現代社会にあつて青少年の心を育む大切な「修養」であると思えます。今回、東園寺本堂という場を縁として、子供達の心に明確な目標が出来たり、夢がさらに大きくなるきっかけとなれば、主催者としてこれに勝る喜びはありません。

四代藩主伊達綱村公

三百年遠忌を間近にして

法要は6月17日に決定

檀信徒法縁各位におかれましては愈々ご清祥のことと拝察致します。旧年中は当山の活動に対しご理解とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて平成30年は塩竈港開港恩人伊達綱村公300年遠忌に正当します。青山様は寛文事件、いわゆる伊達騒動の渦中に誕生し僅か2歳で藩主となりました。幼少期から学問がお好きだった青山様は儒教、漢学、臨濟禅を学び、特に江戸初期に伝えられた臨濟宗黄檗派の禅に傾倒し、初期黄檗禅にあつて隠元禅師や木庵禅師を支えた日本人僧の代表格である鐵牛道機禅師の教えに心酔、仙台に大年寺を開創、4代公以降の菩提所としました。また藩内の神社の支援にも篤かった綱村公は特に塩竈神社を崇敬し、これを支える塩竈村民に対し特別な情をもってこれを支援しました。

この支援の代表的なものが貞享2年に

下された特令で、塩竈内の寺院や村民に金子が配られる他、市の開催、春秋に芝居小屋設置の許可等、町の振興作を含む異例のものでした。これにより塩竈は復興し町は活況を呈したと言います。青山様が卒去されると塩竈民は藩に願ひ出て東園寺に位牌を安置、命日前日の速夜には東園寺で法要が営まれ、翌日は有志が仙台大年寺に参拝するという習慣が今日まで続いています。

300年遠忌を記念し、青山様の遺徳を後代に伝えるべく東園寺では数年前より、木像制作、主著である『如幻三昧集』訓註本発刊など遠忌事業を立ち上げ、檀信徒有志のご協力を賜り準備を進めて参りました。遠忌法要は本年6月17日午後4時厳修となっております。木像開眼事業ご協力者には改めてご案内申し上げます。何卒ご予定頂きますよう懇願申し上げます。青山公遠忌に際しては塩竈市

も様々な顕彰行事を予定されています。また多賀城市にある東北歴史博物館では秋に伊達綱村公300年遠忌記念伊達綱村展が開催されます。東園寺では宝物の貸し出しを始め、出来る限りの協力をして共に綱村公の遺徳を顕彰して参りたいと思ひます。檀信徒各位におかれましては各行事に積極的にご参加頂き、綱村公の恩徳を偲び塩竈の歴史に触れて頂ければ幸甚と存じます。



維持費改定

昨年2月15日発行の会報で申し上げ

ました通り、平成30年度より維持費の改定を行います。従来は特別会員（院号、居士大姉号を受けているご家庭）10000円、（一般的な戒名のご家庭）5000円でしたが、この戒名の位階による特別会員、普通会员の区別を廃止し、境内墓地会員（永代供養塔、納骨堂使用も含む）と境外墓地会員（月見墓地、伊保石墓地等）という区分けを設け、年会費を境内墓地会員8000円、境外墓地

会員5000円と改定致したいと存じます。

従来、境内墓地の整備清掃は新規に得た墓地永代使用冥加金によって賄っておりましたが、新規墓地の契約が激減していることに加え、危険樹木が増え、今後計画的に大木の伐採を進める必要があります。大木の伐採には多大な費用が掛かります。皆様方が安全にお参りして頂けるよう環境を整備致したいと存じますので、何卒ご寛恕賜りますようお願い申し上げます。



新維持費

境内墓地会員（納骨堂使用者、永代供養塔使用者も含む）8000円

境外墓地会員（月見墓地、伊保石墓地等使用者）

5000円

旧維持費

特別会員10000円

普通会员5000円

THE ZEN CLUB K&B GYM

東園寺研修センター内にある
スポーツクラブです。

東園寺檀信徒は入会金が免除になります。



お問い合わせ

利府町加瀬字野中沢 90-1
TEL022-356-7071

お釈迦様涅槃会〜四枯四栄(しこしえい)

2月15日は涅槃会、お釈迦様が亡くなった日である。日本では信じていられます。涅槃とはニルバーナの音写で煩惱の炎が吹き消されたような静かな状態を意味します。

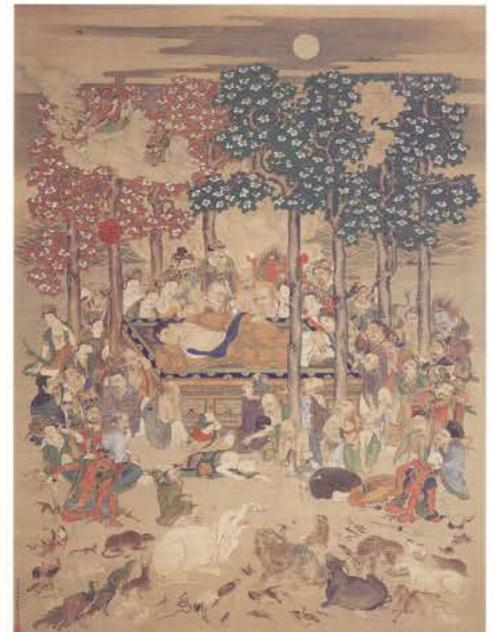
日本の涅槃図の多くには沙羅の木が8本描かれます。えっ！沙羅といえば双樹、双樹と言えば2本の木では？と思われの方もおられるでしょう。正しい指摘です。確かにスリランカやミャンマー、タイなどで大切にされる南伝系の涅槃経には2本の沙羅の木の間に、お釈迦様は亡くなられたという記述があります。我々の漢訳仏教圏で読まれる涅槃経には東西南北沙羅双樹に囲まれた場所でお釈迦様は亡くなったと伝えられています。

そして涅槃図を見ると8本の沙羅の木は4本が枯れ、残りの4本が緑の葉を茂らせているように描かれます。これは四枯四栄と呼ばれる描写で4本の枯れ木はお釈迦様の肉体を、緑を湛える沙羅

樹はお釈迦様の教えを表していると考えられます。

この四枯四栄にはさらに深い解釈があります。それは四枯樹が世の中の事象はすべてが苦、空、無常、無我であることを表し、4本の緑樹がその苦、空、無常、無我を超越した常、楽、我、浄という涅槃の世界を表しているというものです。なかなか難解な説ですが、世の事象すべてに終わりがあると心から理解するところに本当の「常」が生じ、生きる上で避ける事と出来ない苦を本来のものであると受け止めるところに「楽」があり、おのれには我という実相など無いことを悟るところに大きな「我」の働きが生まれ、世の中も自分自身も不浄であることを見極めることにより、本当の「浄(きよらかさ)」を発見出来るといふことが四栄といふことです。四枯四栄を一般的な言葉で言うならば自らや家族、愛する者の苦難や死を心静かに受け入れることでしょうか…。

東園寺ホームページはイベント情報や法話のページなど情報がもりだくさん！是非ごらんください。



行事報告



12月9日成道会



12月東園寺寺宝展



除夜法要



12月31日除夜法要



2月17日涅槃会コンサート



2月17日涅槃会コンサート



もちつき(中央)



写生会(中央)



参観日給食試食会(中央)



坐禅(中央)



書道教室(中央)



楽天スイーツ君来園(中央)



消防署見学(中央)



芋ほり(中央)



豆まき(中央)



運動会(中央)



避難訓練中(中央)



お店屋さんごっこ(中央)



お茶のお稽古(中央)



お遊戯会(中央)

幼稚園だより

塩釜第二
中央幼稚園



豆まき(第二)



お遊戯会(第二)



だるま祭り(第二)



もちつき(第二)



体育教室(第二)



成道会坐禅会(第二)



盆踊り(第二)



芋ほり(第二)



運動会(第二)



ミスタードーナツスマイルプロジェクト(第二)



お店屋さんごっこ(第二)

これからの行事

どなたでもご参加頂けます！
是非東園寺にお越しください。

● 花祭りの夕べ

3月31日午後5時

東園寺本堂

講演

「伊達綱村公と貞享の特令」

塩田達也先生

(東北歴史博物館学芸員)

会費

大人・・・・・・3000円

高校生以下・・・1000円

※参加ご希望の方は事前に花祭券を
寺務所にてお求め下さい。(食事付)

● 大回向

5月1日午前10時

東日本大震災犠牲者毎歳忌法要

日時：平成30年3月11日(日)午後2時46分

場所：東園寺本堂

※予約やお申込みは不要です。

※供養料等は一切ご辞退申し上げます。

※平服でご参加下さい。



● 伊達綱村公300年遠忌法要

6月17日午後4時

講演

「伊達綱村公と如幻三昧集」能仁晃道師

法要会食

※綱村公遠忌法要は木像開眼事業協力者の皆様方すべてにご案内致します。何卒ご予約賜りますようお願い申し上げます。新規のご協力のお申し出は平成30年4月1日迄と致します。1口1万円です。



坐禅会

毎週日曜日午前7時より50分間
(坐禅25分、体操10分、坐禅15分)

予約不要、会費無料

東園寺本堂地下教化センターにて

